

# 児島湖に係る第7期湖沼水質保全計画

平成29年3月

岡山県

## 1 計画期間

この計画の期間は、具体的な事業量の把握が可能な期間等を考慮し、平成28年度から平成32年度までの5カ年間とする。

## 2 児島湖の水質保全に関する方針

### (1) 計画期間内に達成すべき目標

水質環境基準の確保を目途としつつ、計画期間内に達成すべき目標として、化学的酸素要求量、全窒素及び全りんについて水質目標値を定め、着実な水質改善を図る。平成32年度の水質目標値は、化学的酸素要求量（75%値）6.8 mg/L、全窒素（年平均値）1.0 mg/L、全りん（年平均値）0.15 mg/Lとする。

項目		現況 (平成27年度)	目標（平成32年度）	
			対策を講じない場合	対策を講じた場合
化学的酸素要求量 (COD)	75%値	7.2 mg/L	7.1 mg/L	6.8 mg/L
	(参考) 年平均値	7.0 mg/L	6.9 mg/L	6.6 mg/L
全窒素	年平均値	1.1 mg/L	1.1 mg/L	1.0 mg/L
全りん	年平均値	0.17 mg/L	0.17 mg/L	0.15 mg/L

### 目標の根拠となる汚濁負荷量

(単位：kg/日)

	化学的酸素要求量(COD)		全窒素		全りん	
	現況(H27)	目標(H32)	現況(H27)	目標(H32)	現況(H27)	目標(H32)
生活系	3,708	3,368	2,018	1,916	194.1	186.8
産業系	1,709	1,614	513	502	66.5	62.3
畜産系・農地系・ 都市系・自然系	4,534	4,550	855	865	188.6	186.5
合計	9,951	9,532	3,386	3,283	449.2	435.6

### (2) 計画の目標及び対策と長期ビジョンとをつなぐ道筋

児島湖に係る湖沼水質保全計画に基づく各種対策の実施と、進行管理・実績評価、定期的な見直しを進め、着実な水質の改善を図ることによって、平成37年頃に長期ビジョンの達成を目指す。

長期ビジョンの達成に向けて、下水道等の早期整備と高度処理の推進、下水道等への接続促進、くみ取り、単独処理浄化槽の早期廃止と合併処理浄化槽、高度合併処理浄化槽への転換、旭川・高梁川から取水されている農業用水の再利用、環境用水の導水、ヨシ原の管理等による自然浄化機能の再生への取組、農地からの汚濁負荷削減を目指した環境保全型農業の普及促進を図る。

さらに、県民との連携による環境美化活動や水質の監視、水質保全活動など、様々な取組を推進し、児島湖流域別下水道整備総合計画等との整合を図りながら、平成37年頃までに水質を透明度1m程度、化学的酸素要求量6mg/L程度まで改善し、県民が訪れ・遊び・学べる児島湖を創造する。